

## 第3回 震災対策技術展大阪に出展しました

2016.6

関西支店 堀口



平成28年6月2日（木）～3日（金）JR大阪駅前のグランフロント大阪にて開催された第3回「震災対策技術展大阪」に弊社が参加致しました。

昨年につき3度目の開催ではありますが、多数の企業等が出展されており、幸いにお天気にも恵まれ2日間で昨年を上回る10,336名の方が来場されました。

4月に発生しました熊本大地震の影響からか「自然災害」に対する皆様方の意識の変化を感じ取れる展示会となり、特に一般の方々が多く見受けられました。

弊社では、震災時にどなたでもお使い頂ける手押しポンプを中心に展示を致しました。自治会様やマンション等の建物管理会社様を中心に既存の防災機器の見直しをされている方が多く、特に「マンホールトイレを検討中」、「井戸掘削を検討中」という方々が多かったように思われました。

弊社のブースに来られた多くの方々は、今までのトイレ等の雑用水に加えて「濾過装置をセットし飲料水としても使えるように」というご意見が多く聴かれました。

現在、地震の予知等は非常に難しく、また発生後の終息も予測困難となってきました。NHKの発表によりますと、熊本地震では4月25日23時まで地震発生回数は震度4以上が94回と、今までの私たちの常識を覆すような数値となっており、自然災害の恐しさを思い知らされます。



熊本地震発生の数日後に弊社では熊本県を訪れ、複数個所の手押しポンプの点検を実施いたしました、4月16日未明の本震の翌日から3日間は手押しポンプに人の列ができたとのことでした。今回の地震でも避難所での犠牲者がでており、手押しポンプの他に学校等でのマンホールトイレの必要性を痛感いたしました。

万が一の災害の備えを充分に行なって頂き、その万が一の災害が来ることが無く、地域のコミュニティの憩いの場所で弊社の手押しポンプZ0-Ⅲシリーズが活躍できることを祈りながら、今回の震災対策技術展にお越し頂きました皆様のご意見をできるだけ反映をさせ、手押しポンプの更なる技術を発展させていきたいと思っております。